

地域再生の成功の方程式

2015年度 インターゼミ 地域班 山崎

1. 本研究の目的と背景

地方経済の疲弊により、働き口が減少し、それによって労働人口が地方から都市部へと流出している。その為、地方における人口減少が顕著だが、一方で地方にも関わらず、人口が増加している地方もある。

本研究では何故、地方によって人口が減少・増加しているなどばらつきがあるのか、複数の判断基準を設けて、相違点を見つけていきたいと考えている。

日本の社会問題となっている少子高齢化。地方の高齢化率はもちろん都市部に比べてはるかに数値が高い。そんななかで地方がどのように再生・活性化するのかを一年間の研究で明らかにしたい。

2. フィールドワーク

フィールドワーク地につきましては、秋田県五城目町、三重県名張市、沖縄県那覇市のうち1～3つ予定しています。このフィールドワーク地の算定基準としましては、地方経済規模ごとに、経済形態が異なっており、これらを人口規模別に分類し、各規模ごとの差異を分析していく予定となっている。フィールドワーク地での調査内容につきましては現在現地に行かなるのか現在調査中だが、地方再生の中心になっている人物や企業などにインタビューなどができたらいいと考えている。またこれら三つは、参加組織が大学、行政、企業とばらばらとなっていて、それぞれの特徴が分かれるのではないかと考えている。またこれらの三つの人口は4桁、5桁、6桁と大きく異なっており、本研究で人口の多さによっての地方の取り組みの違いも分かるのではないかと考えている。